

# 釜山 広安里 第8号

発行 釜山日本人学校  
釜山広域市水営区民樂路19番道11  
TEL 051-753-4166  
FAX 051-756-4851  
HP <http://busanjs.jp>

## 「一筆啓上」

P T A副会長 西川 みどり

夏休みに、待望の北陸新幹線に乗って長野まで行き、戦国時代好きの主人の強い要望により、国宝松本城を素通りして、来年のNHK大河ドラマ「真田丸」の舞台の一つである上田城を見してきました。砦がいくつか残っている程度でしたが、ここを数万の徳川軍が囲い激戦が繰り広げられた場所なのだと主人は満足気でした。

私たちの故郷福井にも、日本最古の天守閣を持つ丸岡城という古城があります。天守閣しか残っていない、上田城同様小さなお城ですが、春は桜名所100選に数えられるほど、綺麗な桜が咲き、夜は様々な色でライトアップされる、柴田勝家の甥っ子が築城したお城です。

お城にありがちな伝説で「お静の涙」というお話が丸岡城にはあります。築城する際、石垣が何度も崩れて工事が進まなかったため人柱を立てることとなり、貧しい未亡人お静が、息子をお侍にしてくれるという条件で人柱となりました。城は無事築城されましたが、城主が変わってしまい、お静の願いは叶いませんでした。すると、お静の霊が大蛇となり暴れまわって大雨を降らせたということです。実際、春と秋に丸岡城下でお祭りがありますが、特に春のお祭りの時にはよく雨が降り、その雨はお静の涙と言われています。

また、そのしばらく後の丸岡城主となる本田重次が、妻に宛てた日本一短い手紙として有名な「一筆啓上 火の用心 お仙泣かすな 馬肥やせ」の一文はご存知でしょうか？意味は「簡単に申し上げる、火の用心、息子のお仙が病気にならないよう気をつけろ、戦場で重要な馬の世話をしろ」という意味です。丸岡町では、毎年テーマを決め全国から短い手紙を募集し、優秀作品を本にまとめています。

「お静の涙」のお話同様、私には深い怨念はあれど、自己犠牲の精神はありません。しかし、「一筆啓上」からは、私が学ぶべきことがあるように思えます。「子供たちをしっかりと育て、無駄遣いはやめなさい」と解釈すればよろしいでしょうか？釜山に来て、痛切に感じたことは子育ての難しさです。福井にいる時は義父母と同居していたせいか、子育ての役割が分散していたように思えます。ここ釜山では、義父母はもちろん、主人も週末にしか帰って来ず、私一人に男子二人の養育がすべてかかってきました。今までと違いお互い逃げ場のない暮らしに、私も子供たちも息詰まることがしばしばです。最近感じることは、子供を見守ることの大切さです。私はあまりにも過保護過ぎて、彼らを自由に育ててこなかったように思えます。もう少し距離を置き、多少のことは目をつむり、いざという時に手をスッと出してあげられる親になりたいと思い始めました。

3年前、釜山への転校を子どもたちに伝えた時、「絶対いい経験になるから」とありきたりの説得をしたものですが、今は絶対いい経験になっていると自分自身に強く思います。釜山での経験で、心の広い母親となって日本に帰りたいものです。お金の無駄遣い…に関しても改める必要があるような気がしますが、来年の目標にでもしておきます。



【日本最古の天守閣を持つ丸岡城】

## 運動王国韓国・釜山

教諭 神吉 貴博

釜山日本人学校に赴任してから8ヶ月が経ち、釜山での生活にも慣れてきた。来韓当初は慣れない(未だに慣れていないが)言葉や風習に戸惑いつつ、年度当初の仕事に追われていた。ただ目の前のことを懸命に処理するだけで時間が過ぎていった。一息ついたころ、ようやく周囲を見渡す余裕がでてきた。同時に、釜山の方々の優しさや温かみを感じることができるようになった。小さい子どもを連れて買い物や外に出た際、老若男女、多くの方々が声をかけてくれる。「どこから来たの?」「何歳?何ヶ月?」「手伝おうか?」などなど。外出して話しかけられないことがないくらいだ。最初は、話しかけられると何を聞かれているのか聞き取ろうと必死で、ビクビクしていた。聞かれる内容にパターンがあり耳が慣れてくると、親切心でコミュニケーションをとろうとしてくれていたことが分かってきた。少しずつではあるが、知っている韓国語を使い、通じた時の喜びを感じられる余裕がでてきた。

心に余裕が出てきた頃、忘れかけていた趣味を再開することにした。走ることである。幼少期に喘息持ちであったことから、体づくりのために走り始めたことがきっかけだ。次第に興味を持ち、今に至るまで定期的に走っている。今回、走ろうと改めて思ったのは、家の近所を多くの韓国人が走るからであった。自転車に乗る人、ウォーキングをする人、ジョギングをする人…様々ではあるが、早朝から体を動かす韓国の方々がきっかけであった。また、去る10月に行われた釜山海ハーフマラソン大会の存在も走ることへの闘志に火をつけた。日本でもフルマラソンは走っていたが、海外では走ることはできないだろうと思っていた。韓国にも走る習慣があること、運動している多くの方々に感謝した。練習コースは水営川沿いの整備された道で、歩行者通路と自転車専用道路の区切りがあるため走りやすい。練習を開始した夏、日中は猛暑のため早朝5時に起床してトレーニングを行った。まだ未明にも関わらず、公園で運動する多くの方々に驚かされた。また、音楽に合わせてダンスをする年配の方々の情熱に感心させられた。さらに驚嘆したことがあった。ランニング中、トレーニングをしているランナー同士、片手をあげて挨拶をする。何度も同じ道を走っていると、顔馴染みのランナーができ、お互いに片手をあげることで励まし合う。日本になかった習慣であるが、呼吸が乱れず以心伝心するその挨拶が気に入った。本格的に走りこんでいる人同士の挨拶なのだろう。私もいつしか、自分から片手を挙げて挨拶をするようになっていた。

ハーフマラソンは初めて走ることになるが、フルマラソンとの違いはスピード。体力は勿論ではあるが、加えて筋力が必要になる。筋力増強を図った走り込みと体力向上を図った長距離走の2本立ての練習を計画した。仕事の関係で走ることができない日々もあったが、土日祝日の早朝を利用し、出来る限りの練習を積んだ。迎えた当日。スタート地点で位置取りをし、号砲とともにランナーが一斉に出発した。第1集団のスピードは保てないと判断し、第2集団で走ることにした。このような周囲の状況に応じて瞬時に自分のプランを立てることもマラソンの楽しみである。初めて出会うライバルたちと集団になって走ること何とも不思議なものである。市民美術館を出た一行は冬栢島を一周し、いよいよ広安大橋へ。そこで待っていたのが強風である。スタッフの帽子が飛ばされそうになっていたのも、そのような強い向かい風に立ち向かうのは苦難であった。次から次へと集団から人が抜け、集団が縦1列になり、小集団に分かれていった。マラソンもそうであるが、走っていると「何故走っているのだろう」と自問自答をすることがある。何とも呆れたランナーではあるが、中盤は毎回そうである。やがて迎えた終盤。これまた毎回思うのだが、足を止めるのも自分、進めるのも自分、それがルールのマラソン。頑張ることを続ける必要がある競技。止めるときはゴールのとき。そのようなことを思うとランナーズハイに襲われた。いろいろな痛みは苦痛から無感へ、足の回転がみるみるうちにあがり、ゴールへ。無事に完走した。

改めて思うことだが、釜山でこの体験ができたこと。このきっかけを作ってくれた釜山という街。釜山の方々。釜山の習慣に心から感謝したい。また、今後も多くの釜山を知り、釜山の魅力にさらに迫っていきたいと思っている。



# PTAだより

○ 第 8 回代議員会 12 月 4 日(金)  
 新年お楽しみ会, 来年度代議員選出およびバザー収益金の使途について話し合いました。

○ 新年お楽しみ会について  
 年明け1月 14 日(木)に新年お楽しみ会が開かれます。児童生徒の皆さんの餅つきの様子をぜひご覧に来てください。未就学児の皆さんの参加も待っています。つきあがりましたお餅は, 皆さんにお持ち帰りしていただきます。

# 今月の一枚

BIWAバザーでもばっちりきめたソーラン節!

## 1 月の学校行事予定

- 7日(木) 始業式・バス集会
- 9日(土) 中3実力テスト
- 11日(月) 発育測定
- 13日(水) 避難訓練(火災)・生活集会
- 14日(木) 新年お楽しみ会
- 15日(金) 読み聞かせ・漢字検定
- 20日(水) 委員会
- 22日(金) 英語検定一次試験
- 27日(水) 講話集会
- 29日(金) 読み聞かせ



# 読み聞かせボランティアの会

日本の神さまたちの物語  
 はじめての「古事記」

著:奥山景布子

「八百万」,さて,何と読みますか?  
 ‘はっぴゃくまん’もそうですが,他の読み方もあり,‘やおよろず’とも言います。

‘数え切れないほど沢山あること’を意味し,日本に昔からいる神さまの数のことでもあるとされています。大勢の神さまのお話からなる「古事記」は,712年に完成した日本最古の歴史書です。イザナキとイザナミという神さまが「国を生む」ということから物語は始まり,淡路島,四国,隠岐..と順

に作っていきます。また,「天の石屋戸」・「山俣のおるち」・「稲羽の白ウサギ」や倭健の活躍など面白い話が沢山です。

約 1300 年前に想いを馳せながら,読んでみるのはいかがでしょうか?

## ☆今月はこんな本を読みました☆

- おすしのせかいりょこう
- はなをくんくん
- へんしんクイズ
- だるまのしゅぎょう
- ありがとう,フォルカー先生
- ちいさなもみのき
- くろうまブランキー
- いいから いいから4
- もっちゃんもっちゃん もうもっちゃん
- まちゃんと
- とらとほしがき



~2015年も残すところあとわずかとなりました。  
 皆様,よいお年をお迎えください~

2016

